

1 事業の概要

医療従事者・介護従事者・市民が一体となって感染症予防とフレイル予防に取り組むヘルスプロモーションを行うことで、医療・介護資源と市民の健康を同時に守る動機づけを行うものです。【事業費総額1,325千円】

2 背景

①フレイルとは

フレイルとは、加齢による虚弱状態のことです。高齢者は、動かないこと＝「生活不活発」により、身体や脳の動きが低下しがちです。

②新型コロナウイルス感染症にまつわる自粛生活のリスク

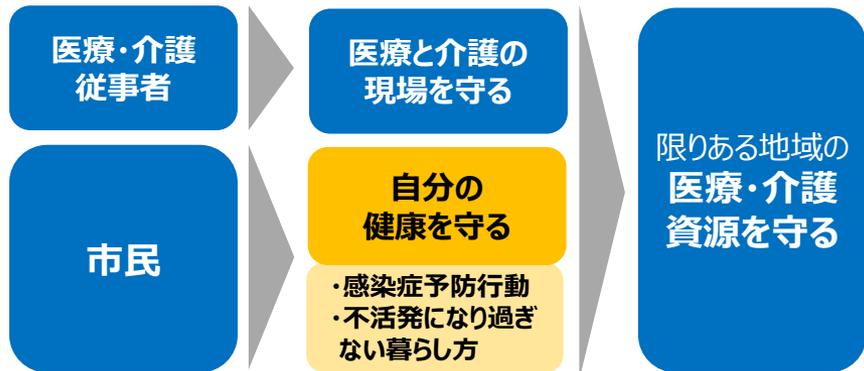
感染を恐れるあまり、外出を控えすぎて「生活不活発」による健康への影響が危惧されています。フレイル状態が進行すると、寝たきりになり、介護が必要な状態になる可能性が高まります。

③集まって活動する以外の手段の不足

これまでの高齢者の健康づくり事業は、外出機会を増やす・集う・交流することに重点をおいてきたため、感染症蔓延期に個人で健康づくりに取り組むための効果的な動機付け教材が不足しています。

3 目指す状態

市民が感染症予防とフレイル予防に積極的に取り組むことにより、自分の健康を守ることにつながります。予防行動は、結果的に限りある地域の医療・介護資源を守ることにつながります。



4 内容

①医療・介護従事者が一丸となったヘルスプロモーションの展開

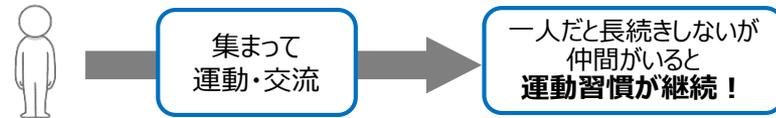
医療・介護従事者と市民が共に感染症対策に取り組んでいく意識を醸成するために、「感染症予防＋フレイル予防」のための共通のキャッチコピーを掲げ、北上市在宅医療介護連携推進協議会の構成団体(16団体)が連携しヘルスプロモーションを行います。【広報媒体印刷製本費192千円】

②「感染症予防＋フレイル予防」の動画制作・配信

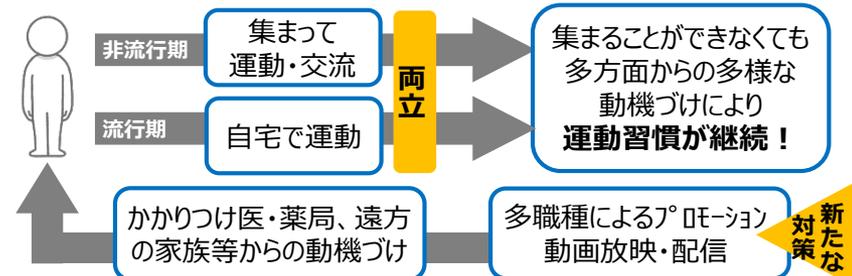
正しい感染症予防対策とフレイル対策を盛り込んだ短編動画と「いきいき百歳体操北上オリジナル版」を制作し、北上ケーブルテレビで放映、公式YouTubeチャンネルで配信します。制作にあたり、市内の整形外科医、理学療法士等の専門職の監修を得ます。【制作委託料1,133千円】

5 ヘルスプロモーションによる行動変容イメージ

【これまでの高齢者の健康づくり事業】



【感染症の流行状況に応じた新しい生活様式】



6 スケジュール

7～8月	整形外科医・療法士との連絡調整、プロモーション戦略立案
9月～	媒体制作、順次ポピュレーションアプローチ開始
10月～	動画放映・配信開始、関係機関と連携したプロモーション開始

※コロナの流行状況に応じてプロモーションの仕方に強弱をつける